

# 大桑村地域公共交通協議会

平成21年3月16日設置  
平成22年3月16日連携計画策定



長野県  
木曾郡  
大桑村

## 概要

長野県大桑村は、村の中央部を木曾川が縦断し、川沿いの僅かな平坦地に集落がつながる山村である。過疎化・少子高齢化が急速に進み、交通手段を持たない単身の高齢者らも増えているなかで、十分な交通サービスが提供できていないことが課題となっている。また、県境に近く、通院や買い物において、岐阜県中津川市への結びつきが強いのも特徴である。これらを受け従前のコミュニティバスを再編し、利便性を高めたことと、一部路線をデマンドタクシー化しての実証運行を行うものである。

### 1. 村営くわちゃんバスの再編(実証運行)

- ・住民からのニーズが多かった岐阜県側の坂下病院への直通バスを新たに運行。途中経路の南木曾町との相互利用を実施。
- ・従前の路線についても、村内の主要施設を結ぶ野尻須原線のルートを変え、集落内に通すようにしたほか、JRとの接続などを改善した。
- ・通院バス木曾病院線についても、途中の買い物や薬局立ち寄りなどに対応できるよう昼休み時間に町内巡回機能を追加。

### 2. デマンド乗合タクシーの導入(実証運行)

- ・これまで、国道から離れ1日1往復の運行しかなかった周縁地区について、デマンド乗合タクシーを新たに導入。
- ・乗継ぎポイントにて幹線バスに接続できるほか、1日あたりの利用回数が増加。
- ・無駄な運行を省くことができ、運行費用が効率化。

### 3. 公共交通の利用促進事業

- ・持続可能な公共交通をつくるためには利用促進が最も重要。
- ・わかりやすい時刻表パンフレットの作成や広報やホームページでのPRなどを行う。

### 4. 評価検証事業

- ・利用実績の分析や利用者アンケート調査等により、利用パターンや利用者ニーズなどを把握。
- ・設定した計画目標への到達状況などを検証。実証運行における問題・課題を抽出。
- ・これらをもとに事業内容の改善提案を行う。

幹線	国道19号沿道および阿寺・川向地区をカバーし、村外の医療機関や村内の主要施設へアクセスするための路線	■ 木曾病院線 ■ 坂下病院線 ■ 野尻・須原線
支線	国道19号から離れた集落をカバーし、幹線や駅などに接続するための路線	■ 和村線 ■ 予約制乗合タクシー (伊奈川・小川・和村・上郷)

